

平成 18 年 5 月 23 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブマネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

天然ガスパイプライン（新青海ライン）の建設計画について

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社の 100%子会社である帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：相岡 雅俊）は、新潟県上越市周辺に展開している天然ガスパイプライン「青海ライン」（上越市～糸魚川市青海間：総延長 66 k m）沿線における天然ガス需要の堅調な伸びに対応するため、その輸送能力を大幅に増強すべく、「新青海ライン」（総延長 49km）を建設することを決定しました。

昨今の原油価格高騰や環境意識の高まりを背景に、同ライン沿線全域において工業用を中心とする液体燃料から天然ガスへのシフトが顕著に加速しつつあり、今後当該エリアで想定される需要量が、早晩、現在の送ガス能力を大幅に上回る見通しであるため、同ラインの輸送能力を増強することとしました。

新ラインは、既存ラインの起点側 39 k m（上越市～糸魚川市能生間）および終点側 10 k m（糸魚川市南押上～同市田海間）を新たに建設するものです（別添地図参照）。

帝国石油は、総延長 1300 k mに及ぶ広域パイプライン網を活用し、新潟、長野、群馬、栃木、山梨、埼玉、東京の各都県において、主に都市ガス事業者の

皆様を通じて約 70 万軒の一般家庭と商業用・工業用の需要家に対し、新潟で産出する天然ガスを供給しています。今般の新青海ライン建設により新潟県内における国産天然ガスの安定供給体制をさらに万全なものとし、より多くの皆様に地球環境に優しい天然ガスをお使い頂けるよう努力してまいります。

記

1. 仕様 : 設計圧力 6.9MPa 管径 20 インチ (508mm)
2. 区間 : 上越市～糸魚川市能生 39 k m
糸魚川市南押上～同田海 10 k m
総延長約 49km
3. 工期 : 平成 19 年春着工、平成 21 年完成予定
4. 建設費 : 約 95 億円

以上

天然ガスパイプライン図

